

平成25年3月7日

発行

名古屋工学院専門学校校友会

名古屋市熱田区神宮四丁目 7-21

<http://koyukai.denpa.ac.jp/>

<第54号>

『校友会・新たな出発』

校友会長 池戸 博行

校友会会員の皆様におかれましては、益々のご健勝とご活躍のこととお喜び申し上げます。平成24年4月より倉田前会長の後を引継ぎ第30期校友会会長の大任を任されることとなりました。これからの2年間の職責を会員各位とともに、学園との連携を図りながら校友会として活動していきたいと考えております。

デイズニールランドの生みの親であるウオルト・デイズニーは「現状維持では後退するばかりである」という名言を残しています。常に人気のデイズニールランド

『学園は還暦を迎えました』

校長 小川 明治

学園は昨年、創立60周年を迎え、還暦を迎えることができました。一昨年の12月15日に行われた、電波学園創立60周年記念式典においては、本当に多くの人から60周年の門出を祝って頂きました。

それは、我々がこれまで『建学の精神』の具現化を実行し、社会へ有能な人材を輩出するという使命を、徹底して行ってきた、その成果がめぐって高い評価となつて、我々に還つてきたのです。学園は、60年という節目、暦がかえり、学園は、新たなスタート地点に戻ってきました。今後とも継続的に建学の精神の具現化を

でもアトラクションを増やし、常にバージョンアップしています。人間にとつて同じ事の繰り返しは、簡単に居心地の良いものです。デイズニーは、「それでは後退だ」と言っています。

昨年、名古屋工学院専門学校は創立60周年を迎えました。卒業生は6万名を越え、様々な業界で活躍しています。しかし、少子化の時代の中で会員数が増えない現実もあります。60年は人間で言うところの還暦です。この大きな節目を機会に、前例を世襲するのではなく、もう一度校友会とは何かを考え、先送りしてきた校友会の課題に正面から役員一同取り組んでいきます。校友会発足の原点に還つて

進めていき、永続的に成長していくべく、六つの目標

- ①教職員の意識、行動のさらなる活性化。
  - ②社会貢献のための、新たな事業の検討。
  - ③国際化の取り組み。
  - ④広報力の強化。
  - ⑤経営の効率化。
  - ⑥目標、プロセスの見える化。
- を掲げ、全教職員で取り組むことを誓いました。

さらに、循環の起爆剤として、金山地区のビルを取得しました。将来、金山に学園本部を中心とする『電波学園金山ビルディング』を設立したいと思ひ、現在、将来の構想実現のため、若い教職員を中心とした『将来構想委員会』を設立し、電波学園の永遠の

校友会会員と母校との繋がりを堅固なものにしてまいります。現在、校友会支部は7支部で活動しておりますが、静岡県や長野県の出身者も多く、新しい支部の発足を検討しております。

今年の干支は「巳」で、へび年です。校友会においても、従来の発想、現状のやり方から脱皮していきたいと思ひます。生命力の強いへびは「命」そのもののシンボルとして、また、財産の守神にもなっています。東日本大震災からの復興の進展と景気回復の年であることを期待しております。これからも皆様のご意見を伺いながら、校友会活動の更なる活性化のために頑張りますので、今後ともご協力とご支援をお願い申し上げます。

存続と夢の学園づくりをめざしています。しかし、新しい年を迎えたものの、今年も、政治、経済、社会不安、さらに少子高齢化と、学園を取り巻く環境は一層の厳しさが予想されています。

このような時こそ、複眼的に、物事を色々な角度から、仔細に観察する『虫の目』鳥のごとく、高い所から、全体を眺めわたす『鳥の目』魚のように、潮の流れ、時の流れを読み取る『魚の目』が必要になります。今こそ、『二つの目』を持って、素早い判断と実行力の『スピード』と、どんな変化にも対応できる『柔軟性』により、すべての人から『ありがとう』と言われる、新しい学園の歴史を刻むべき、力強い、第一歩を踏み進めてまいります。

## 「人の為に生きる」

電業技術学科

昭和56年卒 加藤邦夫

私は、仕事が好きだ。なぜなら、稼ぐことが好きだからだ。

私は、現在まで様々な仕事に従事してきた。家業の家電販売店を継ぐために、名古屋電気通信工学院に入学し、卒業後は、修行のため、他の家電販売店に就職して、営業方法や営業作法を学んだ。1年後、家業の家電販売店に戻り、培ったノウハウを駆使し、一時は、売り上げもかなり伸び、将来も安泰だと思っていた。

ところがその後、大型電器店が軒並み進出してきたことや、不況の煽り、販売方法の激変により、一気に赤字に転落！結局、お店を手放すことになってしまった。それからというものの、職を転々とする事になり、どの職も長続きせず、長くても3年で辞めてしまい正直、自暴自棄になっていたことを思い出す。

それ以来、とにかく稼ぐことができない仕事なら何だってやってやる！と考えるようになり、多くの人に会い、情報を仕入れ、とにかく稼ぐことに集中して、ソコソコは稼ぐことができるようになった。ところが、ここで気が付いたことがあった。稼ぐことができ

る限界があるということだ。どうして？自問自答しても答えが見つからない。しかし、ここであるキッカケを持つことができた。今でも忘れないが、私の尊敬する先輩から「おまえ、お金に執着し過ぎてないか？女と一緒に追うと逃げるぞ、もっと肩の荷を降ろして、人に役立つことをやったら？」と言われたのだ。

そう、今までやって来たことは、全て自分のためであって、他人に貢献しようなんて、これっぽっちも思っていなかったと悟った。その瞬間、目の前が一気に明るくなり、たまたま鏡に写った自分の顔の表情の明るさに目を疑ったくらいだ。それからというもの、その志を忘れず、私に携わっていたいた方々には、自分より稼いで頂こうと思うようになった。するとどうだ、瞬く間に、収入がアップしたではないか。正に、人の為だった。

「人の為に生きる」ことの大切さ、これは、難しいことなのかもしれないが、見返りを求めず、真っ直ぐに信念を持って、人のお役に立つ行動や活動することにより結果的には、自分に跳ね返ってくることを実感させていただけだ。失敗を恐れず失敗を繰り返すことが、全て無駄ではなく、今に活かしていることも、これからの活動に役立てたいと強く感じている。

## 「為せば成る・・・」

電気電子学科 梶間 泰

10年位前から、この言葉を私が担任する新入生に紹介し、「これからの勉強や国家試験に向けて頑張りましょう。」と4月をスタートしている。その言葉とは、『為せば成る』何かを為し遂げようと、やる気であれば結果は得られる。

『為さねば成らぬ何事も』何事も、やらなければ結果は得られない。『成らぬは人の為さぬなりけり』結果が得られないのは、為し遂げるためにやる気でないからだ。平たく言えば、「努力し、頑張れ」ということだ。そもそもこの名言、誰の言葉？それすら知らないでは、学生に紹介できないということ調べてみた。パソコンに入力して、リターンキーを押すと出てくる。

本を買うでもなく、図書館に行くでもなく、本当に便利な世の中になったものだ。

この言葉を残したのは、江戸時代中期に、17歳で米沢藩の藩主になった上杉治憲。後の上杉鷹山（ようざん）という人物。膨大な借金を抱えて、領地返上の瀬戸際にあった藩の財政を立て直すため、家臣に教訓として詠み与えたという名言だ。

さて、前置きが長くなったがこの言

葉は、誰もが知っている。しかし、やれば出来るとはいふものの、何かを成し遂げて結果を得ることは、容易なことではないことも多い。特に学生たちが、国家試験に挑戦するとき、もう一度この言葉で奮起してもらおう。

どんな国家試験も、簡単には合格できない。最初のうちは、点でしかない勉強を継続してやらなければならない。すぐに理解できれば良いが、点と点が繋がるにはしばらくかかる。沢山の知識を総合して色々な事が線で繋がり、理解できる様になる。じっくりと、諦めずに勉強することが要求される。

国家試験は、入学試験とは違い人数制限はない。他人との競争は必要ないので、努力が報われる可能性は高い。最後まで頑張り、合格レベルに達した者はすべて合格できる。

少し前までは、粘り強く頑張れる学生も多くなって、それでもない学生も触発され頑張ってくれた。また、合格点に早く到達することを競っていた。最近では、すぐ諦めてしまう学生が増えてきている。難しいと言っ分分かうとする努力すらしらない。他の学生が、合格点を取っても、反応がない。「為せば成る」はずなのに・・・。

これから、学生をどう指導していくか、悩ましい。私自身も、「為せば成る」の精神で乗り切らなければならない。

平成二十三年度

校友会事業経過報告

年月日 事業内容

23・5・31 校友会常任役員会 開催

23・6・18 校友会支部役員会 開催

23・7・7 東日本大震災義援金

中日新聞社会事業団へ寄付

23・7・9 校友会石川支部総会 開催

(支部担当 石黒 出席)

23・8・4 校友会メールマガジン

【かもめ〜ルNo.24】配信

23・9・12 卒業生による

在校生への講話

山本 隼希氏

(H20年CGクリエイティブ科卒)

23・9・22 校友会常任役員会 開催

23・10・17 校友会メールマガジン

【かもめ〜ルNo.25】配信

23・10・23 ~ 24 学園祭

校友会コーナー運営

23・11・24 東日本大震災義援金

中日新聞社会事業団へ寄付

(校友会コーナー売上金)

24・1・11 校友会メールマガジン

【かもめ〜ルNo.26】配信

24・2・16 校友会常任役員会 開催

24・3・8 校友会賞受賞者決定・授与

24・3・9 校友会誌『かもめ』

第53号発刊

24・3・14 校友会役員会 開催

24・3・16 校友会誌『かもめ』

(1221通) 発送)

24・3・24 校友会沖縄支部総会 開催

(支部担当 堀内 出席)

24・3・27 校友会メールマガジン

【かもめ〜ルNo.27】配信

各支部長

および支部連絡先

▽東京支部長 板屋越 一機

平成4年 電子工学研究科卒業

・支部担当 松岡 昇

▽大阪支部長 田邊 和哉

昭和47年第一部電子計算機科卒業

・支部担当 荒木 俊行

▽富山支部長 中島 光憲

昭和49年第一部テレビ技術科卒業

・支部担当 村崎 博樹

▽石川支部長 坂本 守

昭和52年第一部電子工学科卒業

・支部担当 石黒 誠

▽福井支部長 山崎 利治

昭和40年第一部電気通信科卒業

(活動休止中)

・支部担当 神谷 裕之

▽三重支部長 瀬野 喜久

平成3年情報処理工科卒業

・支部担当 森下 啓司

▽四国支部長 松浦 正昭

昭和34年第一本科学卒業

・支部担当 高須 真人

▽沖縄支部長 南風原 武則

平成4年 電気工学科卒業

・支部担当 堀内 豊

☆支部担当連絡先

名古屋工學院専門学校

校友会各支部担当者

所在地 名古屋市熱田区

神宮四丁目7・21

電話 052・681・1311 (代)

第三十期校友会常任役員

会長	池戸 博行
副会長	岩井 敬典
副会長	堀内 豊
書記	鈴木 一司
會計	梶間 泰
幹事長	村岡 好久
幹事	竹下 啓太
幹事	根岸 雅巳
幹事	平岩 清
幹事	石黒 誠
幹事	松岡 昇
幹事	古市 雅邦
幹事	松本 英晃
幹事	隈元 良一
幹事	坂下 正義
幹事	高須 真人
幹事	松橋 卓也
幹事	神谷 裕之
會計監査	田中 和彦
會計監査	神谷 公司
相談役	小川 明治
相談役	坂田 和義
参与	倉田 豊行

平成23年度 校友会収支決算書（一般会計の部）

収入の部 合計金額 24,692,488 円  
 支出の部 合計金額 24,692,488 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	22,857,077	会誌発行費	213,120
校友会活動費	1,832,000	支部結成維持費	897,811
預金利息	3,411	講演会費	32,140
		援助費	25,000
		慶弔費	19,403
		備品消耗品費	0
		校友会賞費	81,270
		会議費	0
		会長交際費	32,350
		東日本大震災義援金	100,000
		予備費	80,790
		次年度繰越金	23,210,604
合計	24,692,488	合計	24,692,488

平成23年度 校友会収支決算書（特別会計の部）

奨学金特別会計

収入の部 合計金額 31,249,257 円  
 支出の部 合計金額 31,249,257 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,778,578	今年度貸付金	0
奨学金返金	1,380,500	貸付繰越金	20,188,000
一般会計から	0	通信費	0
預金利息	2,179	次年度繰越金	3,161,257
貸付繰越金	20,188,000	奨学基金	7,900,000
奨学基金	7,900,000		
合計	31,249,257	合計	31,249,257

# 学園あれこれ 二〇二三

人はひとりでは生きられない。みんなと楽しく暮らしたい。  
ひとは自分と向き合い、周りとも向き合い、成長していく。

▼「フェイスブックって、どこの本屋で売ってるの？」なんていうジョークがあったFacebook。今やFacebookをやっているのが当たり前という時代。

Facebookの第一人者といえば、何といっても神谷先生。なんと友達が「1000人を超えている。野球選手からアナウンサーまで幅広く、今度は総理大臣と友達になりたいと願っているようだ。

お次の2番手は荒木先生。頑固一徹、星一徹みたいな性格で、すべてがまっすぐ一直線。最近ではFacebookで卒業生とつながって、満悦。

コミュニケーションを外にも内にも発信しているのが中島修志先生。毎年「アットホーム賞」に輝いているほど家庭を大切にしている。妻や子が愛おしくて仕方が無い。

年齢が同じというだけで和製トム・クルーズと称する万年青年の荻沼先生。この夏もバイクで北海道へ。

最近はおみやげを買ってきてくれたくなったのが残念だと周りはぼやく。▼さてこちらは、毎回登場の小林先生。

ネタには事欠かない。もう卓球部の顧問をおりてしまった小林先生だが、かつて学生と共に遠征で新幹線に乗った時に車内の通路を指して「廊下は走るなよ」と大きな声で言っていたらしい。

Y先生が床に落としたお菓子をフーと息を吹きかけて食べたのを横で見えた小林先生が吹き出しそうになり自分のお菓子を落としてしまった。

他人が目を腫らしたときは、大笑いして笑い転げていたのに、自分が蚊にまぶたを刺されて腫れたときはコンソツと黙って息を潜めていた。

学生の前で名札をつけるーと叫んでいたのに自分が付いてないのに気付いたとたん小さな声になっていた。

年の瀬に新年のカレンダーを手に入れて喜んでいたら、表紙をめくると1月から6月までが無くて7月から12月までが重複している世にも珍しい製作ミスカレンダーだった。

よくこんなものを引き当ててくる。▼そんな先輩に憧れて(っ)本校職員になってまた日の浅い岩佐先生。いきなり

結婚するわ、奥さんに関白宣言をするわで派手なデビューを飾ったが、間髪入れずに子供を作った。何にでも手が早い。だが内実は恐妻家で、小遣いが少ないと嘆いている。こっそりとへそくりを考えているようだ。ばれたらどうする？

愛車はシヤコタンのMINIだが、アクセルを踏むと急に走ったり遅くなったりするという。愛車も愛妻も自分の思い通りに操縦できていないらしい。

▼工学院のアウトドア同好会の『ももたろうの会』リーダーの世古先生は、行き当たりばったりでいつもギリギリ行動。西徳高登山の帰り、ロープウェイ乗り場に最終便5分前に到着。間に合わなかったらどうなっていたんだらう。

その登山に新メンバーの広報課の北嶋氏が加わった。デビューの日、連絡を携帯に入れても反応無し。自宅の電話番号を誰も知らず、あちこち電話をかけることになった。

その時刻は、夏休み中の早朝5時。電話でたたき起こされた人は数知れず。みんな、ごめんなさい。

▼今年度から教務課に異動された池戸先生は、「忙しい、忙しい」を連発。忙しいのは、みんな一緒。忙しいと言ったら罰金。池戸基(罰)金で飲み会をしようということになった。

しかし、それをすぐに察知され、「忙しい」ではなく「充実している」と言う

ようになり、いまだ一度も罰金は徴収されてはいない。

そんな折、朝倉先生がワイン検定プロンズクラスを取得。

池戸先生に、罰金ではなくお祝いにワインをご馳走になられたそう。

▼期待の新人、新井先生。電子デジタル家電分野の平均年齢とともに、石黒英二先生の眼尻が下がりつばなし。

久々の若手を迎え嬉しくて仕方が無い。早速教育係を買って出て、体験入学や授業のやり方をきめ細かく指導をしている。石黒先生のしつこきは有名だ。新井先生がんばれ!!

それを横目に、伊藤先生が毎朝コンビニの焼き鳥を食べてその日の仕事をスタートさせる。これまでに伊藤先生の腹に収まった鶏たちのご冥福を祈りたい。それにしてもその腹、何とかならんのか、と聞いてみた。

「わかつトリます。」と返ってきた。▼10号館では、森先生が今日もせっせとボードマーカのインクを補充している。

森先生の授業の前は、浜本先生で板書が多いので有名だ。インク満タンのマーカも浜本先生の手にかかれれば激減、次の授業で、森先生が一行書いたらもう空っぽ。自分で補充するしかない。

森に蓄えられたインクは浜へと流れる。森守ろう、さすれば浜潤う。これ自然の摂理。感謝! (優良可)

# 『でじっく☆フェスタ』始動!

## 『でじっく☆フェスタ』始動!

今年、学園祭と同じ日に、1号館で風変わりなイベントが行なわれたのを「記憶のことと思います。その名も『でじっく☆フェスタ』。アニメやゲームなどの同人サークルが集まって、会誌・ソフトやグッズ類を頒布する、いわゆる“コミケ型”のイベントです。出展も来場も広く外部から募り、オープン&フリーで実施しました。

当日は、さまざまな問題点を抱えたまま迎えました。初開催に知名度の低さ、PR不足、競合イベントの同日開催、そしてスタッフの経験&人数不足などです。しかし、大盛況のうちに進行、無事終えることができました。お客さんの反応も良好で、幅広い層に工学院の存在をアピールできたと思います。

ゲーム・CG分野は、“色物”っぽい側面を多分に持っています。ただエンジニア色の強い工学院の中では、それもつい抑制されてしまいがち。それだけに、こういうイベントの価値も大きいでしょう。見ようによつては「ふまじめ」なテーマですが「真剣にふまじめ」なのです。実はこの『でじっく☆フェスタ』は、学生の提案で始まっています。関係各位のご支援により開催が決まってからも、

学生中心で企画や準備を進め、開催にまでこぎ着けることができました。イベントの成功よりも、そうした企画力・行動力のある学生を育てることができたというのが、いちばんの自慢といえそうです。(備兵隊長)

## 『機械工学科のグローバル化』

一昨年・昨年度と機械工学科には台湾からの留学生 鄭君が在籍し、彼の卒業と入れ替わる形で今年度は中国から曹さんが入学してくれました。いよいよ機械工学科にも国際化の波が押し寄せてきたようです。

彼女(曹)を見てみると日本の学生以上に勤勉さやバイタリテイさを感じます。鄭君は入学当初こそ話す日本語もタダタドしく理解に苦しむこともありましたが、陽気で積極的な性格もあり、直ぐにクラスに溶け込み、あつという間に日本語も上達してしまいました。成績も優秀で面倒見も良いので、進級してからは試験前などには成績の悪い学生たちを留学生の彼が教えているという妙な光景も見受けられ、つい私も彼が留学生であることを忘れてしまうほどでした。

今年度入学の曹さんも何時もにこやかに謙虚な所は日本の女性よりも大和撫子

らしい気がしますが、知識や技能を学ぶ姿勢には気迫すら感じるほどです。

二人とも自国で短期間ですが製造業の仕事に携わり、そこで日本の技術力に憧れ、日本に来て技術を身に付け、いつかは自国のためにという高い志があるからでしょうか。彼(彼女)らのような留学生を受け入れられたことが機械工学科の自慢であり、日本の学生たちも彼(彼女)らに刺激を受け海外の企業へ就職するような、グローバル化の時代が来そうな気がしています。(機械の海坊主)

## 『スペシャリスト試験』

### 13年連続合格

今年もやりました!(デンシエンマン風に始めてみました) 情報処理技術者試験の最高ランク、スペシャリスト試験に合格者を輩出し、13年連続となりました。この記録がいかにスゴイかを示す話を一つ。4月に実施された情報セキュリティスペシャリストでは、愛知県の専門



スペシャリスト試験の合格証書授与

学校生の合格者は僅かに3名です。何と、その内の2名が本校の学生です。難関で

あつても工学院の情報学科の学生は受かるのです。まさしくマジスゴ実績ですよ?

合格証書は、副校長から授与されます。合格証書を手にした学生の自信に満ちた笑顔は、頼もしさを感じさせます。

次年度以降もスペシャリストの連続合格は続きます。

## 『電子・デジタル家電分野の話題』

まずは今年度の就職内定状況です。景気状況は、東日本震災の影響も尾を引き、近年稀に見る最悪の状況です。まだまだ厳しい社会情勢の中、各クラスがそれぞれあと1~2名の未決定者を残すのみ。年度内決定率100%を目指し頑張っています。

今年も勿論、中部国際空港情報通信(株)、KDDIエンジニアリング(株)、パナソニック テクニカルサービス(株)、中部テレコミュニケーション(株)など、目標とする優良企業から多数の学生が内定をいただきました。

次に、資格取得の近況です。デジタル家電科では、各種資格取得の合格ラッシュが、続いています。目標とする家電製品エンジニア試験に、延べ21名が合格。アドバイザー試験にも、延べ16名が合格。更に、国家資格である第一級陸上特殊無線技士には、19名が合格。この他にも第2種電気工事士に4名が合格と、日々の地道な努力が結果としてでできました。

次に、工事担任者AI・DD総合種の認定講座について。総務省より認可され、

平成12年度から継続するこの講座も今年で13年目に入りました。今年度は、電子情報学科1年生の25名が、全員取得を目標に頑張っています。この認定講座での勉強により、情報通信技術者に必要な資格「工事担任者AI・DD総合種」が信じられないような高い合格率で取得できるのです。参考までに、昨年度の合格率は85%でした。

最後に、平成24年4月より、電子・デジタル家電分野に新たに教員として、新井智道先生が着任されました。現在、デジタル家電科を中心に授業を担当され、張切っています。新井先生には、若手教員として大きな期待が掛かっています。健康に気を付けて頑張ってくださいですね。  
(平成25年1月記載 デジデジ)

### 『組込みシステム技術者と ロボット技術者への成長』

◎文部科学省委託事業の企業提案型プロジェクト学習の実践対象校として、ロボティクス創造学科3年生が、(株)エスワイシステム技術社員の指導の下、無事にプロジェクト学習を終えました。

学習内容は、自動車組込み分野の実践的プログラム開発「ミニカーを制御対象としたC言語によるプログラム学習」であり、平成24年11月30日までの毎週月金の終日でミツチリと学習しました。ミニカーに搭載する電子回路のハードウェアの製作から始まり、制御プログラム開発統合環境の構築、プログラム開発、ハードウェアへの組込みを経て、ミニカー

を思い通りに制御できたときの喜びもひとしおでした。

◎マイクログラウス学生大会で準優勝。全国専門学校ロボット競技会で4種目の競技にそれぞれ2チームが出場し奮戦しました。中でも、有線型では、3連覇がかかっており、勝負にすぎたのか、決勝戦で敗れ、惜しくも優勝を逃しましたが、全力を尽くしました。

他に、優秀ハードウェア賞、2足歩行ロボットは、オリジナル性豊かな手作りのロボットで周囲から称賛を浴び、優秀ヒューマンノイド賞を受賞しました。来年度は、王者奪還を目指してさらなる努力を続けます。  
(ロボ吉)

### 『基本情報技術者取得者数 3桁に』

基本情報技術者試験において、53名の合格者を輩出。在学生の合格者は3桁に復活し、112名になりました。特に、情報総合学科4年生の取得者は92%を超えました。4年間コツコツと努力をした



基本情報技術者試験の合格者で記念撮影  
イエ〜イ!

成果が出たのだと思います。来年も今年以上の結果を残すため、学生と共に頑張っていけますよ。後輩達の奮闘に期待して下さい。  
(ITだぜえ)

### 『学外支援実習』

映像音響科では、イベント・映像制作に関する専門家を育成するために、「学外支援実習」として、高校などで催される様々なイベントの支援に向かいます。今年も多く学外支援実習を実施しましたが、その中のひとつのイベントを紹介します。

ある高校での演劇です。宝塚歌劇団は女性が男役を演じていますが、ここでは男子生徒が女性を演じているのです。その名も「カヅラカタ歌劇団」(タカラヅカの逆読み)。

映像音響科の学生たちは、本番日の1ヶ月以上前から多くの時間を費やして準備をしてきました。本番の前日には、機材のセッティングなどの仕込みを行い、準備万端に仕上げ本番を迎えます。

いよいよ本番当日。講堂には、2回の公演で合計約3000名が入場しました。衣装と化粧を担当した保護者の方々や、音楽オーケストラの皆さんを含め、たくさんの方々が演者を支えます。

私たちは、舞台照明の演出、音響、映像収録を担当しました。映像カメラ担当者は、スイッチャーからの指令でカメラを操作。音響と照明担当は、迫力ある音響効果や照明効果により感動的なシーンを創り上げました。会場は惜しみない拍

手で最後まで盛り上がりました。

イベントは無事終了しました。実習は、学校に戻ってきて機械を下ろして全て完了です。反省点もたくさんありますが、若い力を一致団結させて仕事をやりきった学生達の顔は生き生きとしています。学外支援実習に参加したスタッフは、この達成感を経験してまた次頑張ろうと言う気持ちになるのです。

### 『就職 資格取得 絶対調』

電気設備分野では、就職好調で、今年度も中部電力、中部・北陸・関西・中国・九州の各電気保安協会、出光興産、知多エルエスジ、川崎重工業、清水建設、日本電設、新生テクノス、米沢電気工事(敬称略)ほか、たくさんの方の採用内定を頂き絶対調を維持しています。

また資格取得では、「電験3種に65名が合格」これだけで十分自慢ですが、なんと「電験2種にも2名合格」(一次試験合格者は9名)学生の頑張りがあるのです。

更に驚いたことに電験1種一次試験にまで合格する学生が出てきました。また、エネルギー管理士にも12名が合格しました。電気工事士では、第一種電気工事士試験に75名が合格。

あちらの教室、こちらの教室で、皆、将来を夢見て勉強しています。伝統となった電験補習や一種工事士補習は先輩方に続いて、在学生諸君の頑張りも驚くほどです。(デンセツ)

平成二四年度

母校のおもなできごと

24年度は国の内外で大きな動きがあった。南では中国や韓国との関係に緊張感が高まり、また、オスプレイの強行配備で米国に頭が上がらない日本の立場が露呈した。国内では、求心力を亡くした民主党が、国政のかじ取りを退くことになった。この国はいい方向に進んでいるのだろうか？

しかし、わが工学院は間違いなくいい方向に進んでいる。還暦を迎えた新学生学院の1年を振り返ろう。



- 4月9日(月) 昼間部・オリエンテーション／電波学園合同入学式
- 4月10日(火) 始業式
- 夜間部・オリエンテーション
- 4月22日(日) 情報処理被褥者試験
- 4月27日(金) 第1回県人会
- 5月18日(金) 第1回・企業説明会
- 5月19日(土) 東海地区保護者会(卒業クラス)
- 5月27日(日) 工事担任者試験
- 6月2日(土) 堀川まつり／ポスター採用／河合雅人(ゲームCG学科)

- 6月3日(日) 第二種電気工事士上期筆記試験
- 6月10日(日) 映像音響処理技術者資格認定試験
- 6月16日(日) 寮対抗球技大会
- 優勝 島袋 晃(明治寮)
- 準優勝 下村英二(明治寮)
- 第3位 仲里雄斗(明治寮)



電波学園合同入学式  
本年度は、学園全体で約2,693名の新生を迎えることができた。

- 6月23日(土) 校友会支部長総会
- 6月24日(日) CAD利用技術者試験
- 6月26日(日) 色彩検定
- 7月1日(土) サウンドレコーダー



寮対抗のボウリング大会  
学生と教員合わせて111名が参加し親睦を深めた。

- グ技術認定試験
- 7月2日(月)～7月18日(水) 教育懇談会／県人会担当教員が各地区へ赴き保護者との面談を行った。
- 6/30 富山・高山、7/1 長浜
- 7/7 石垣・宮古・尾鷲・金沢
- 7/8 那覇・福井、7/15 長野・静岡
- 7/16 飯田、7/15 浜松・松本
- 7月1日(日) サウンドレコーダー
- グ技術認定試験
- 7月4日(水) 新学生会役員任命
- 会長・ドスサントス・ジェオバニ・サガ(ゲーム総合学科)
- 副会長・柴田喜之(電気工学科)
- 書記：松村祥希(情報デザイン科)
- 会計：阪田真生(機械CAD設計科)
- 7月8日(日) CG-ARTS検定
- 7月15日(日) 3次元CAD利用技術者試験
- 7月24日(火) 25日(水) 第一級陸上無線技術士試験
- 7月26日(木) 27日(金) 第二級陸上無線技術士試験
- 7月28日(土) 29日(日) 第二種電気工事士上期技能試験
- 7月23日(月)～27日(金) 前期末試験
- 7月27日(金) 昼間部・夜間部終業(夏期休暇)
- 8月22日(水) 夜間部始業
- 8月24日(月)～9月8日(土) 第一級陸上特殊無線技術士講習会／今回は受講者が昨年の2倍となり、資格取得者は67名。
- 9月2日(日) 第27回マイクロマウス初級者大会(於：本校)
- マイクロマウスクラシック競技
- 優勝：村手優人(ロボテイクス創造学科)
- 準優勝：松阪勇太(ロボテイクス創造学科)
- 3位：志水圭太(ロボテイクス創造学科)
- 支部サーキット競技
- 優勝：村手優人(ロボテイクス創造学科)



(9)

3 位：松阪勇太

(ロボティクス創造学科)

ロボスパ rint 競技(一般の部)

優勝：佐藤真一

(ロボティクス創造学科)

ロボスパ rint 競技(ワ ンメ ークの部)

優勝：柴田大輔

(ロボティクス創造学科)

準優勝：佐藤真一

(ロボティクス創造学科)

9月2日(日) エネルギー管理士試験

9月8日(土) 第1種・第2種電気主任技術者試験(二次試験)

9月9日(日) 第3種電気主任技術者試験

9月9日(日) 家電製品エンジニア/アドバイザ ー試験

9月12日(水) 家電製品アドバイザ ー試験

9月20日(木) 23日(日) 東京ゲームショウ見学

9月23日(日) CADアドミニスト レータ認定試験



東京ゲームショー

10月6日(土) 第二種電気工事士下期支部サーキット競技

筆記試験

10月7日(日) 第一種電気工事士筆記試験

10月13日(土) 東海地区保護者会(進級クラス)

10月21日(日) 情報処理技術者試験

10月21日(日) 第27回全日本学生マイク ロマウス中部地区大会(於：東京工芸大学)

マイク ロマウスクラシック競技

準優勝：村手優人

(ロボティクス創造学科)

3 位：柴田大輔

(ロボティクス創造学科)

マイク ロマウスハーフサイズ競技

準優勝：柴田大輔

(ロボティクス創造学科)

10月24日(水) 体育祭/今年も体育祭日和。鶴舞競技場に学生達の歓声が響きわたった。

10月27日(土) 28日(日) 第42回名学祭 テーマ「紡ぐ」/昨年か ら復活した校友会コーナーでは、各地方の名産品の販売やノミの市を開催。売上金の全額を「あしなが東日本大地震・津波遺児募金」に寄付をした。

10月27日(土) バンダイナムコゲームス特別講演会「強いニーズを深くエグルコンテンツを作る」

10月28日(日) 第31回マイク ロマウス中部地区大会(於：本校)

支部サーキット競技

3 位：村手優人

(ロボティクス創造学科)

ロボスパ rint 競技(一般の部)

優勝：白井徳馬

(ロボティクス創造学科)

準優勝：柴田大輔

(ロボティクス創造学科)

ロボスパ rint 競技(ワ ンメ ークの部)

優勝：佐藤真一

(ロボティクス創造学科)

準優勝：村手優人

(ロボティクス創造学科)

3 位：鈴木曾良

(ロボティクス創造学科)

11月18日(日) 機械設計技術者試験

11月25日(日) デジタル技術検定試験

11月24日(土) 25日(日) マイク ロマウス2012

12月2日(日) 第1種・第2種電気主任技術者試験(二次試験)

12月8日(土) 第二種電気工事士下期技能試験

12月9日(日) 第一種電気工事士技能試験

12月21日(金) 22日(土) 第21回全国専門学校ロボット競技会(於：東京)

有線型ロボット対戦競技

準優勝：フェアラレジ・ラファエル

吉田昌弘

(ロボティクス創造学科)

優秀ヒューマンノイド賞

小野田有起

(ロボティクス創造学科)

優秀ハードウェア賞

上ノ山大地、早川央人

(ロボティクス創造学科)

1月18日(金) 第2回県人会

1月22日(火) 23日(水) 第一級陸上無線技術士試験

1月24日(木) 25日(金) 第二級陸上無線技術士試験

1月28日(月) 2月1日(金) 卒業試験

2月7日(木) 14日(木) 進級試験

3月7日(木) 茶話会

3月8日(金) 卒業式

3月10日(日) 家電製品エンジニア・アドバイザ ー試験

3月13日(水) 家電製品アドバイザ ー試験

3月14日(木) 15日(金) 学園総合企業説明会

12月9日(日) 第一種電気工事士技能試験

12月21日(金) 22日(土) 第21回全国専門学校ロボット競技会(於：東京)

有線型ロボット対戦競技

準優勝：フェアラレジ・ラファエル

吉田昌弘

(ロボティクス創造学科)

優秀ヒューマンノイド賞

小野田有起

(ロボティクス創造学科)

優秀ハードウェア賞

上ノ山大地、早川央人

(ロボティクス創造学科)

1月18日(金) 第2回県人会

1月22日(火) 23日(水) 第一級陸上無線技術士試験

1月24日(木) 25日(金) 第二級陸上無線技術士試験

1月28日(月) 2月1日(金) 卒業試験

2月7日(木) 14日(木) 進級試験

3月7日(木) 茶話会

3月8日(金) 卒業式

3月10日(日) 家電製品エンジニア・アドバイザ ー試験

3月13日(水) 家電製品アドバイザ ー試験

3月14日(木) 15日(金) 学園総合企業説明会



名学祭/校友会コーナー(上)と学祭を支えた実行委員(下)

# 熱田の散歩道

## 熱田神宮

工学院の西に隣接する熱田神宮。地元では「熱田さん」と親しまれている。

御神体は、三種の神器のひとつである「草薙神劍(くさなぎのみつるぎ)」だ。

主祭神である熱田大神は、天照大神とあるが、日本武尊であるという説もある。

熱田神宮の創祀(そうし)は、一九〇〇年前、宮賢媛命(みやすひめのみこと)が草薙神劍をこの地に祀ったことが始まりという。

皆さんも在学中に一度は参拝に訪れたことがあるのではないだろうか。

さて、今回はこの熱田の杜を散策する。工学院1号館の正面玄関を出て、伝馬町の交差点へと向かう。振り返ると足場が

組まれ、取り壊しの作業が始まっている。2号館が目に入った。伝馬町の交差点を西に渡りそのまま1号線に沿って歩く。

200メートルほどといった角を右に曲がると熱田神宮の正門に立つ鳥居が見える。

鳥居をくぐるとこれまでとは違った空気に包まれ、街の喧噪から解放された心地よさが充滿してくる。ザクツ、ザクツ、と砂利を踏みしめながら正参道の本殿へと進む。すぐ左に「恵比寿さん」で

親しまれている上知我麻神社の神殿が

見える。毎年1月5日には「初えびす」の祭りがあり、商売繁盛と家内安全を願う人で大賑わいとなる。

熱田神宮の境内には本宮をはじめ別宮1社、摂社8社、末社19社あわせて29社が祀られている。これから目指すのは、その社の一つである清水社だ。

さらに本殿に進む。正参道が東参道と交差する位置の手前両脇に佐久間燈籠がある。これは佐久間大膳亮勝之、だいぜんのすけかつゆきが寛永7年に寄進したもので、高さ8メートルの石燈籠は、

東京都大東区の東照宮、京都南禅寺の大燈籠と併せて「日本三大燈籠」の一つに数えられている。また、佐久間燈籠の近くには二十五丁橋がある。板石が25枚並んでいるところからこの名がついており、名古屋では最古の石橋といわれている。

佐久間燈籠を過ぎ、二つ目の鳥居をくぐると左側に手水舎、そしてその北隣に大きな楠がある。境内には楠が多く、この木は弘法大師のお手植えと伝えられており、樹齢は約千年になるという。悠久の時を経て生き続ける巨木には圧倒的な存在感がある。



清水社の奥にある湧水。清水の中にある大きな石が楊貴妃のお墓である。昔はもっと大きなものであったらしいが、今ではその一部のみが存在する。

三つ目の鳥居をくぐると視線の先に拝殿が見えてくる。でも拝殿には向かわない。授与所の東側を抜け神楽殿の前に入る。その神楽殿の東脇の小道に入る。参拝客のほとんどはこんなところに入道があり、さらに奥へとつながっていることなど知らないだろう。少し下り坂になっている小道を木漏れ日を受けながら歩いて行くとその先に清水社がある。

この社殿の奥に水が湧いており、その水で眼を洗えば眼がよくなり、肌を洗えば肌がきれいになるといいう信仰がある。その清水の中から突き出ている石には楊貴妃のお墓との言い伝えがある。なぜ熱田神宮の境内に中国の美女のお墓があるのかについては、なかなか興味深い伝説があるのだが、今回はここまで。熱田の杜の道は、さらに奥へと続いている。

### 2号館解体

1号館の北側に建っていた2号館は、電気工学や電子・デジタル家電分野の学生が利用していただけで、ほとんどの学生には馴染みの薄い校舎だったろう。

昭和32年6月に竣工した校舎は、周囲に高い建造物がなかったため、かなり目立つ存在だったようだ。

2号館は当時「実験講堂」と呼ばれており、1号館が建っている場所はグラウンドになっていた。熱田の森の若みどり♪校歌ができたのもこの年であった。

55年の歳月が経った。多くの技術者を育てたその校舎も老朽化が進み、地震による倒壊の恐れからとうとう解体されることになった。長年見慣れた景色にぽっかりと穴があいてしまった。

実習設備は、6号館に移設され、跡地は、学生の憩いの場として生まれ変わる予定だ。



解体のため、足場が組まれた2号館

## 【特筆すべき学生】

最近の工学院で特筆する学生を紹介いたします。後輩の頑張りを讃えて下さい。

### ● 人生をやり直す

電気工学研究科 永井 靖浩 君

電気技術者として必要な資格の三冠王という、第一種電気工事士、第三種電気主任技術者（電験3種）、エネルギー管理士があります。今回紹介する学生は、それらを全て手にした永井靖浩君です。

愛媛県の普通高校を卒業した永井君は、臨床心理士を志し、大学を目指しましたが、家庭の事情により進学を断念。目標が無くなり約2年間アルバイトをして、遊びほうけてしまいました。これではだめだと一念発起し、地元の建築材料を扱う会社の営業職に就き、再スタートとなりました。

そんな彼も入社して二年目、段々現場の仕事を任せられるようになりました。仕事を続けたある日のこと、何もなかった新地に大きくでき上がっていき建物を見て、「自分もこんな大きな建物を作り上げてみたい」と、

そのすばらしさに強く感動し、人生の目標に設定したそうです。

その目標を実現しようとして色々調べるうちに、電験3種と就職実績の中にスーパーゼネコンがあった名古屋工学院専門学校の存在を知りました。人生をやり直すなら今しかない、永井君は最後のチャンスだと思い入学を決め、夢に向う再スタートを始めました。

このような意識改革があり、入学以来真摯に勉強に取り組み、日常生活も他の学生の見本で一目置かれる存在となり、今ではクラスのまとめ役となつていきます。入学以来2年間、勉強に良く励み、念願の電験3種に合格することができました。電験3種は、全国平均の合格率が5%程度と難易度が高い資格ですが、電気技術者の登竜門とされており、電気工学科の目標資格に設定しています。

難易度が高くて、簡単には諦められない永井君と、彼のクラスメイト達がいきました。彼らは、互いに協力し励まし合い、今年度の本校合格者数65名のうち40名が彼のクラスメイトでした。更には、上級資格であるエネルギー管理士や、第一種電気工事士にも合格し、三冠王となる資格をすべて手に入れる事ができました。

就職も念願のスーパーゼネコンである清水建設株式会社の名古屋支店に内定することができ、本校への入学目標のすべてを達成することができました。



実習授業中の永井 靖浩 君

愛媛県立丹原高等学校出身

### ● スペシャリスト2冠

情報総合学科4年

早川 春樹 君

スペシャリスト試験に2つも合格した「マジメにスゴイ」学生がいます。情報総合学科4年の早川春樹君です。スペシャリスト試験は現場のプロでも合格が難しい試験です。早川くんが合格したのはデータベースと情報セキュリティの2つです。学生で2つに合格することは並大抵のことではありません。

スペシャリストの2冠を達成した早川君は、知識だけではなく、技術力も高い学生です。3年次には、マイク

ロソフトで実施された「次世代ICT人材育成リーダーズ特別講座」のワークショップで、早川君率いるチームのプレゼンが見事優勝しました。記念にいただいたマイクロソフトのロゴが入ったボトルは自慢の逸品です。

卒業研究ではクラスを中心としてiPhoneアプリの開発をしています。間もなくAppStoreに公開する予定です。簡単に連絡先を交換するためのアプリを開発しました。公開されたら皆さん是非使ってください。

卒業後は、「マジメにスゴイ」エンジニアとして、世の中を「あつ」と言わせるようなアプリを開発してくれることと思います。



スペシャリスト2冠の早川春樹君  
あいちビジネス専門学校高等課程出身

『カメラと出会い、

剣山スーパール林道をゆく』

四国支部担当 高須 真人

私がカメラと出会ったのは、今から24年前の夏、前職の四国で働いていた時に事務所の一眼レフ Canon A-1 を手にした時だった。すべてがマニュアル操作で使い方も分からず、まずは使い方を先輩に聞くと、「とりあえず休みの日に撮影してみてください」と言われ、「持ち出して良いのですか」と尋ねると、「最近は殆ど『写ルンです(インスタントカメラ)』を使っているから、いんじゃない!」と一言。課長も係長も遊んでおいでよと一言。

やった! しめしめと思いい、早速夜勤明けの休日を利用して、学生時代から夢になっていたサーフィンにカメラを持ち出した。せっかくなら、高知県の仁淀川河口に出来る綺麗なチューブ状の波を写したいと思いい、車にボードを載せて走らせた。

徳島県の池田町から徳島市内を經由して、仁淀川河口まで4時間以上を要する。そこで無知な私は、四国の名峰剣山の横をすり抜けて縦走すれば、早く到着出来るのでは安易に考えていた。勿論当時は、カーナビなど優れたものはなく、地図を助手席に置き、早朝に出発した。国道192号線を走り、徳島県山川町

から高知県まで伸びる193号線に入った。途中までは順調にアスファルトの山道をひたすら行く。所々にダート(砂利道)であったが気に止めず、頭の中に広がる青い海を思い浮かべ、上機嫌で車を走らせた。山川町から2時間程過ぎたあたりで突然、道が……???

これが国道?と疑う程の道。俗に言う棚田や茶畑の畦道である。四国の3桁の国道は危険と知っていたが、大丈夫と自分に言い聞かせ、私は青い海を指した。おそらく、すれ違った人たちは、何でこんな山奥にサーフボードを積んで?と思つたに違いない。時間が経ち、標高が高くなるに連れてかなり陰しく、間違えれば断崖絶壁の谷底にまつしぐら。そこここは、全国のオフローダーの聖地、日本最長のスーパール林道だった(気づいた時は後の祭り)。

私は、時間を気に留めず、ひたすら走つた。標高が高くなつた時、突然前方が開け、絶景が広がっていた。険しい山道の中、誰一人としてすれ違うことがなかったが、その意味がわかつた気がした。ここまで走ってきた間、数々の神秘的な景色が自分の目に映っていた。どこまでも透き通つた湖、生い茂るシダの群生、邪魔者が来たと振り返る野生動物。完全に魅了されて、カメラのことを忘れていた。今思うと、撮影しておけばよかったと後悔している。何より、時間を忘れる

ほど、素敵な空間で時間を過ごしていた。そして、目的地に着いたのは、出発から8時間を経過していた。何とも言えない達成感と満足感であった。

既に午後3時を回っていた。仁淀川河口には、平日であっても全国から、波を求めるサーファーが自然と戯れている。やつと借りてきたカメラの出番がやってきた。マニュアルカメラだが、何となくピントを合わせる感覚が分かり、夢中でシャッターを切つた。現代のカメラであれば、その場で写した画像が見られるが、このカメラは、そうはいかない。持ち帰り、現像に出して写つた写真に驚いた。率直に綺麗な描写だった。

これが一眼レフなんだと、若僧ながら自分の撮つた写真に惚れ込んだ。

今でも、フラインダーを覗く度に、その当時のことを思い出す。カメラは私の瞬間を切り取る魅力を教えてくれた。

東日本大震災の後、ボランティアの方々が、流れたたたくさんの写真をかき集め、被災者の元に返るように働きかけていることを知り、思わず涙が溢れた。

写真は、被写体が描く思いと、シャッターを切る人の思いが重なり、その写し出された一枚一枚には、その時、その場に居合わせたお互いの思いが込められている。私にとってカメラとの出会いが、自分の器を広げるきっかけになったのだと思う。

## 編集後記

「熱田の散歩道」の記事を書くために久しぶりに熱田神宮へ参拝に行った。

まだ1月の2週目ということもあつてか、多くの参拝客で賑わっていた。誰もが参道を真つすく本殿に向つていたので、いままで気にも留めなかつた灯笼や信長塀の前で暫く立ちとまり、これらで作られた当時に思いを馳せた。

時代が移ろい、世の中の景色が変われども、何百年もの間変わらぬ姿でそこに存在している建造物。悠久の時の流れの中で人は生き死にを繰り返してきたが、彼らが残していったものだけが時を越えて過去と現在をつないでいる。

「凄いなあ……」佐久間灯笼を見上げながら声を出して言つてみた。佐久間灯笼が凄いのではない。後世まで残る仕事をした先人たちに感嘆したのだ。

この世に生を受けたからには、何か自分が存在した証を未来に残したいものだ。と、そんな思いに至つた。

「かもめ」も54号の発刊となる。創刊号から54年が経つたということか。この冊子の編集も過去から受け継いだものを未来へ繋いでいく仕事なのだ。機会があれば創刊号からじっくり読んでみたい。「かもめ」は工学院のタイムカプセルだ。

(零式)